

平成 23 年度第 1 回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成 24 年 2 月 2 日（木）午後 1 時 30 分から午後 3 時 12 分
- 2 開催場所 岩手県自治会館 第 2 会議室
- 3 出席委員 高橋委員、櫻井委員、久慈委員、手塚委員、菊地委員、山瀬委員、岩動委員、大黒委員、大谷委員、細江委員、小田島委員
- 4 傍聴者 2 名

5. 会議の概要

(1) 説明

次の事項について、事務局から説明した。

ア 後期高齢者医療制度の動向について

イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について

ウ 東日本大震災への対応について

エ 岩手県後期高齢者医療広域連合第 2 次広域計画（案）について

オ 平成 24 年度及び平成 25 年度の後期高齢者医療保険料率（案）について

また、協会けんぽの健康保険料率とジェネリック医薬品の使用状況について手塚委員から資料の提供と説明があった。

(2) 意見等

【委員】拠出金の負担額が大きく伸びている。

【事務局】高齢者の医療費が増加する状況で、現在の制度においては大きな負担をいただいている状況となっている。

【委員】はしご受診等をしない、ジェネリックの使用促進等医療費適正化の取り組みを進めていただきたい。

【委員】今でも保険料は高いということ。今後もあまり保険料を高くしないでほしい。

【委員】シルバー人材センター医療費の節約に貢献している。

【委員】健診事業に重点的に行うことが、長い目で見ると医療費の抑制につながると思う。

【委員】東日本大震災から間もない時期でもあり、保険料の据え置きは妥当な案と思う。

【会長】この会議は皆さんの活発なご意見をいただき、問題点も浮き彫りになりつつ、この案を認めていただけるということですのでよろしいでしょうか。（異議なしの声あり）